

チョウセンハマグリ



- ・ 外海に面した砂浜海岸に生息し、九十九里では貝けた網、鋤簾（じょれん）により、鴨川ではろくろ曳き（人力による底びき網）により漁獲される。
- ・ 1歳で殻長約1cm、2歳で3~4cm（7~16g）に成長し、3歳で5~6cm（31~54g）となり、寿命は10年以上で10cm（250g）を超えるものも漁獲される。
- ・ 産卵期は6~9月。

資源評価

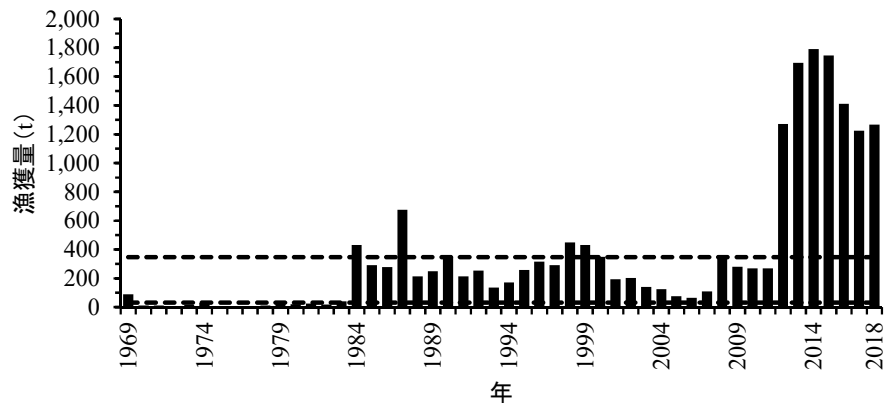
水準：高位



動向：減少



漁獲量



チョウセンハマグリ漁獲量の経年変化

(2006年まで千葉農林水産統計年報, 2007年から千葉県調べ)

- ・ 1969~1983年は低位で推移していたが、1984年以降は70~660tで増減を繰り返し、2012年以降1,000t以上の漁獲が続いている。
- ・ 2012年以降は、2009年生まれの卓越年級群の加入により漁獲が増加したと考えられる。
- ・ 2016年以降は2009年より後に生まれた貝の漁獲が確認されている。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(漁獲量)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び資源動向は、漁獲量の推移で判断した。
- ・ 2018年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は減少傾向となった。

資源管理の取り組み

- ・ 貝けた網漁業では共同操業による水揚げプール制、操業隻数・日数の制限、網目・漁獲サイズの制限、禁漁期・資源保護区域の設定、小型貝の沖出し放流など、漁業者が自主的な資源管理に取り組んでいる。

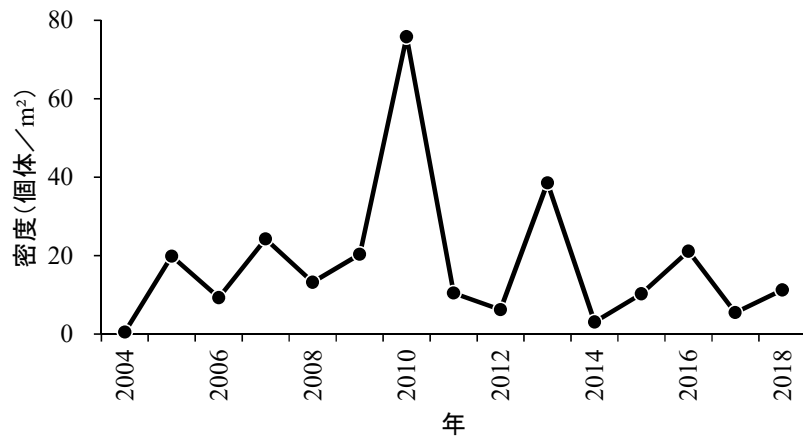


図 九十九里海域における1歳魚平均分布密度の経年変化